



お便りコーナー



『難問漢字Annex』第3号に掲載予定だったお便りを、
どどんと! 拡大版で!! 掲載しちゃいます。

前号(第2号)を解き終えての感想!

◆先日『難問漢字館』を初めて購入して、「アネックス」を知りました。他社のパズル誌を毎回5誌購入しているのですが、難問でないとして5日程でやり終えてしまいます。書店で難問を探して、やっと見つけました。お便りコーナー(第1号の感想)を見て、やる気が出て、いつもよりハイスピードで解きました(笑)。次号も絶対2誌購入します。

ありがとうございました。

(大阪府 細井昭栄さん 68歳)

◇ネット応募、堂々の第1位! 第2号発売日(9月5日)の1週間後の、9月12日午前3時にお送りいただきました!スゴイ!!すげすぎる!!! (編)

◆今回はお助けヒントも無く、「難解語じてん」を頼りに、どうにか解くことが出来ました。応募の早さにも挑戦したかったのですが…無理!諦めてマイペースで解き楽しみました。早い方…1週間もかからずに解いてしまうなんて、スゴイ!

(東京都 柿本三富さん 69歳)

◇それでも9月13日の第4位ですから、充分早いです!「早い人がエライ」わけではありませんが、それにしてもみなさん早くてびっくりです!(編)

◆前回はよく使われてる漢字がヒントにあったけど、今回はそのヒントがなかったのので、10倍ぐらい難しく感じました。でも、その分解き甲斐もありました。正解者が少なく、プレゼントが当たるといいなあ。

(兵庫県 小笹孝恵さん 67歳)

◇第1号に掲載したヒント(チェック表に多く使われている文字)は「これは何の意味があるのか?」と評判がよくなかったの、第2号には掲載しませんでした。活用して下さった方もいるのですね……(編)

◆今回は、全問解けたので、ネットにて応募します。上記全て購入していますが、やはり難問系は解くのが楽しみです。他の雑誌も、ネットでの応募が出来ると良いのですが。

(埼玉県 森井真一郎さん 62歳)

◇全問解けなくても、応募していただけてますよ!そして、他の雑誌も順次ネット応募できるようにしていますので、お楽しみに!(編)

◆『難問漢字館』の場合は一点一角、正確さが求められ、全問正解になって無い場合は、えっ?と見直し、成る程と気が付きます。選者も大勢の解答の中、よく観察すると、驚き苦笑します。

最近では手紙より手軽なラインが多く、勝手に変換してくれる漢字に頼り、正確な字が書けない傾向になってます。

この字に間違いが多かったとの正誤を見て、改めて知る事もあります。この歳になり今更

ながらの、勉強です。

(北海道 納谷好さん 76歳)

◆Q5は「お手の物」「御手の物」のどちらでも可ではないかと思えます。ネット応募だとどちらかしか入れられないので迷いました(手書き応募の方はどちらも書きました)。また、ネット応募の場合、Q7、21、27のように解答欄に送り仮名が書かれているものはどうすれば良いのでしょうか?

今回は送り仮名を省いて答えのみ入力しましたが、「一人暮(し)」とか「一人暮し」と入れた方が良いのか迷いました。

(兵庫県 神代ゆかりさん 64歳)

◇「お手の物」「御手の物」どちらでも正解にしています。「かな入り」ではないので、迷った場合は「御」と漢字で書いていただければと思います。

送り仮名があるものは、「一人暮」「一人暮(し)」「一人暮し」いずれも正解にしています。(編)

◆『難問漢字館』を定期購読している私ですが、実はイラストロジックも大好き。アネックスの「ほっとひと休み」コーナーもしっかり楽しんでます。

(鳥取県 横木佳代子さん 50歳)

◆郵便代値上がりのタイムリミットvs私の手元にある難問漢字雑誌(ナングロ漢字館136、難問漢字アネックス2、ホワイト漢字館10)を解き切って応募する…無事に負けちゃいました…(ナングロ漢字館⇒応募完了、アネックス⇒解答完了するも投函間に合わず/解答完了が9月30日深夜、ホワイト漢字館⇒余裕で間に合わず)

(石川県 松嶋貴文さん 29歳)

◆病気療養中の暇つぶしのはずが、夢中になってしまいました。妹から「根をつめないよう」と注意されてしまいました。

(神奈川県 山下恭子さん 67歳)

◆前号に続き、歯応えのある問題が多く、とても解き甲斐を感じました。その分、作成者のご苦労がよく分かります。解くのにかかる時間を考えると大変リーズナブルな価格設定だと思います。年金生活者にはとても有り難いです。

(茨城県 清水英智さん 67歳)

◆長年『難問漢字館』を楽しませてもらっています。アネックスは二号になりますが、ヒントが少なく、難しく感じますが、解けた後の爽快感がたまりません。また、ネットで簡単かつ迅速に応募でき、切手も節約できて、最高です。

(千葉県 赤山照也さん 76歳)

◆『難問漢字館』と一緒に購入。他の出版社の漢字パズル(難問)と比較してみたいと思い購入。それぞれ特徴があって、楽しく解くことができました。Annexの難問クラスはヒントがないと私にはとても解けません。今後とも続けようと思えます。ポケ防止にもいいかな。(実はワイン飲みながら解いています。出題者に失礼かな。)

(東京都 阿部恵司さん)

◆まったく失礼ではなくむしろ、喜んでいるのではないのでしょうか?(編)

までが私の集中出来る時間。難問漢字に挑戦!!

(東京都 高橋美恵子さん 63歳)

◆頭の体操と思い始めましたが、時間を忘れてしまうくらい、熱中してしまいました。おたよりコーナーを楽しみにしています。

(千葉県 青野真佐江さん 73歳)

◆『難問漢字館』とともに購入。他の出版社の漢字パズル(難問)と比較してみたいと思い購入。それぞれ特徴があって、楽しく解くことができました。Annexの難問クラスはヒントがないと私にはとても解けません。今後とも続けようと思えます。ポケ防止にもいいかな。(実はワイン飲みながら解いています。出題者に失礼かな。)

(東京都 阿部恵司さん)

◇まったく失礼ではなくむしろ、喜んでいるのではないのでしょうか?(編)

◆産休中の暇潰しにと思い、購入しましたが、難問過ぎてなかなか進まず…(笑)

だんだん出題される語彙に慣れてきて少しずつ解けるようになりましたが、まだまだ皆さんの足元にも及びません。全問応募の方たちは猛者ですね!

(京都府 鳥垣奈央さん 32歳)

◇猛者の方々も「若いのに(しかも産休中に)漢字に取り組むとは、感心感心」と思っていると思います!(編)

◆私は92歳の老人ですが、認知症予防のひとつと思い、漢字ナングロに挑戦しようと考え、どうせやるならいっそ難問誌を、と貴誌を求めました。ところが私の選択は誤ってしまいました。成程難問ぞろい、何問も解けませんでした。

(岐阜県 三輪雅義さん 92歳)

◆110円ではなく、84円切手を先に貼ってしまっていたので、9月中に送るために、毎日朝も夜中もパズルをして過ごしました。

(京都府 岡野友信さん 61歳)

◆やらねばならないことはたくさんあるけれど、連日の猛暑!これ幸いとばかりに、エアコンのきいた部屋でアネックスに励みました。おかげで集中できました。楽しかった。すっきりしました。今年の夏の思い出です。

(千葉県 加藤雅子さん 65歳)

◆『Annex』『ホワイト』『難問Vol.56』3冊を続けてやり終えました。蛍光ペンでチェックしたマスがカラフルなのは苦労したページ。サビついた脳には心地よい刺激でした。しばらくは「漢字館ロス」です。

(香川県 木下勝子さん 82歳)

◆第2号の発売を知らず11月に入ってから購入!超スピードで空いた時間はすべてパズルにかけ、20日になんとか全問解いてみました。正解かどうかとても不安ですが、見返すことなく送ることにしました。
(高知県 塚地睦さん 70歳)

◆第1号でこんな難しいのわかるわけないでしょうと解答欄をいくつか空白のまま投函しましたが、第2号で全問正解者が678人もいたと知り俄然やる気が起き、発売日の購入から1週間で経たないで全問解答(正解は別として)できました。どこかに必ずヒントがあることがわかりました。第3号を楽しみに待ちます。
(千葉県 豊田美紀さん 80歳)

◆自力で解けるパズル誌、もう少し難しくても良いのでは?いろんなパズル誌を渡り歩いて来ましたが、貴誌は読者にとっても優しいと思います。封筒の作り方、解答欄の区分、少額でも大勢の人に当たる配慮、すばらしいです!
(岐阜県 丹羽巳智子さん 68歳)

◆Q22の9のマスにQ23の「本」が透けて見えていたのはヒントでしたか。
(熊本県 前田とも子さん 68歳)
◇言われて初めて気づきました(笑)。まったくの偶然です!(編)

◆ちょうど良い難しさで、楽しかったです。本屋さんでアネックスをパラパラと見たときに「ささやかな幸せ」というワードにひかれて購入しました。「ささやかな幸せ」大好きです。
(宮城県 三上峰子さん 69歳)

◆Q36がとても難しかったです。右下の「生麦生米生卵」がすぐ出たものの、そこからなかなか進まず、解けないのではと思いました。3日間かけてやっと解けました。解けたときの爽快感は忘れられない。
(東京都 村上みつるさん 54歳)

◆難問クラスに往生しました。何時間も解けず、イライラして家族にもツケンドンになり、気まずいことになり反省しています(家庭不和になったら、貴誌に仲介を願うかも)。
(石川県 百浦権昭さん 79歳)

◆他誌にはないパズルがあってとても楽しめました。良質紙というだけあって、とても書き心地が良かったです。
(岐阜県 宮腰嘉孝さん 81歳)

◆解いている時、マスに入れる候補が複数ある場合、パズルのタイトルや小さなイラストをヒントにしていること。解答のひらめきや、推理するときの手がかりとしています。
(静岡県 小野間美都さん 54歳)

◆『難問漢字館』『ホワイト漢字館』『難問漢字Annex』3冊いつもやっています。毎日1問ずつ解くことにして、ボケ防止のため頑張っています。私の今一番の楽しみです。
(愛知県 小林のぶ子さん 75歳)

◆今、書道で行書体で字を習っているので、解答を書くごとに、点は何個とか、棒線は何本とか、字典を引きながら書くことが多く

なってきました。
(大分県 村田誠子さん 68歳)

◆好きな「漢字」一筋だったのですが、p50-51の「イラロジ」、脳を少しでも活性化したいと思っているのですが、どこから手を付けて良いかさっぱりわかりません。これから少しずつルールとか解き方を読み、なんとか今年中には解けるようにしたいです。
(兵庫県 高橋美枝子さん 75歳)

◆問題を作成している人ってどんな人物?いつも気になっています。「カーミラ」とか「松竹梅」さん、「ソレイユ」さんとかは相当漢字に精通してそう。すごく興味あります。年齢層も気になります。
(東京都 渡邊美智子さん 71歳)

◇ソレイユ先生は姉妹誌『難問漢字館』に「パズル制作の裏側」というコラムを連載中です。弊社ホームページから過去の連載も読むことができるので、ぜひご覧ください!ずっと読んでみると、だんだんと人となりが見えてきますよ。

<https://puzkan.jp/column/kanji/>
「パズル館 コラム」で検索してみてくださいね!
ちなみに「あ、年齢は聞かないで!」だそうです(笑)。(編)

◆なんとか無事最後まで解き終えることができ、スッキリしています。ちょうど大谷さんも世界一になりましたし、気分は最高です。本当に紙質が良く、楽しく進めることができました。ありがとうございます。
(岩手県 伊藤みどりさん 66歳)

◆読めても意味を理解できていない熟語の多さに情けなくなります(その時だけ覚えてすぐ忘れる)。自分と同年代の方が投稿されている川柳。ウンウンと納得の作品ばかりです。
(福岡県 後藤加代子さん 76歳)

◆創刊号を購入できなかったのですが、今回は予約して手に入れました。「ホワイト」や「雅」も購入し、「難問」や「別冊」と併せて机に積んで、秋の夜長を楽しんでいます。
(山口県 白玉由利枝さん 70歳)

◆Q42は「月長石」に振り回されましたね。これを作成した「ビオゴン」さんが他のページにも載っているか調べたら、これ1問のみで、特徴を知ろうとしたのですが、できませんでした。まあ、何というお方でしょう!消しゴムがだいぶ減りましたね。つかい棒がとれるとほんとに流れるように進みました。でも、答えが合っているかは二の次。ほんとに頭の運動になりました。楽しかったです。だいぶ悩んだけどね(笑)。
(東京都 山田千代美さん 71歳)

◆問題のタイトルと解答が関連していて面白いと思った。本パズルを解いていて新たな熟語に出会い、感動しています。
(石川県 山口秀信さん 66歳)

◆50数年前の受験生の時でも、こんなに一生懸命考えたり調べたりしていなかったなあと思います。もうすぐ72歳になる今、漢字にハマっている自分が可笑しくて、笑ってしま

います。採点して返送してくださって感謝しています。
(茨城県 原真知子さん 71歳)

ここだけの話。

◆平成の曲より、令和の今の曲の方が好き。
(山梨県 荻原早苗さん 65歳)

◆気持ちはまだ青年ですが、もしかしたら来春にはおじいちゃんになるかもしれません。
(北海道 西畑健一さん 68歳)

◆70歳ですが、半ズボンとサングラスで若作りしてネ、年齢制限のある絶叫マシンに乗りました!
(栃木県 田中俊朗さん 70歳)

◆皆が寝静まってからこっそりおいしいものを食べる。コンビニスイーツ最高!
(北海道 大橋美智子さん 66歳)

◆家事を手抜きしAnnexに夢中の私。晩ごはんはレンチンがほとんど。文句一つ言わない主人に感謝!おかげで切手が値上がりする前に出せます。
(愛媛県 PN「のんのん」さん 65歳)

◆読者にだけというより、編集者の方へ温かく、行き届いた編集等有り難く、感謝の念一杯。次回が楽しみです。大勢のお便りコーナーも楽しませていただきました。
(宮崎県 打保裕子さん 81歳)

◆お年玉年賀はがきで当選した切手が過去40年分くらい残っています。漢字館の応募に使っていますが、生きている間に使い切れるか、神のみぞ知る。
(神奈川県 村上恵子さん 70歳)

◆どうしても解けない難問を友達と2人でやります。平成15年に入院中、同室になった人と今もパズル友達で続いています。お互いの家や図書館等で……月に2回はランチにも行っています。
(北海道 古川由美子さん 76歳)

◆私は右利きなのですが、漢字パズルだけは左手で書いています。脳トレにもなるかなと始めたのですが、1年以上になると、かなり上達を感じられます。
(福島県 長田俊さん 70歳)

◆解いている時、マスに入れる候補が複数ある場合、パズルのタイトルや小さなイラストをヒントにしていること。解答のひらめきや、推理するときの手がかりとしています。
(静岡県 小野間美都さん 54歳)

◆「歯が白くなる」という歯みがきを通販で買って、1年間せっせと磨きました。結果、1ミリも白くはなりません。なんなのアンミカさん!
(長野県 菊池みはるさん 66歳)

◇「白って200色あるねん。1ミリも白くないように見えてな、実はちょっつとだけ違う種類の白に変わってるねん!」って言われたらどうしますか?(編)

◆返信用に趣味の切手を貼ってます。届いた時に、それらの切手を見て北叟笑(ほくそえ)んでいます。(千葉県 岩坂文夫さん 86歳)

◆カタカナのナンクロを長年やってきましたが、物足りなさを感じていて、漢字にシフトしましたが、今回は本当にチャレンジです。(埼玉県 篠塚安子さん 71歳)

日々の出来事など……

◆最近中学校の卒業生のLINEグループができました。それを読むのがすごく楽しくて。66年も生きてくればみんな何がしかありますよね。それを乗り越えてきた同級生がとっても誇らしいです。(広島県 立上典子さん 66歳)

◆20年以上も前の話。小学生に「お寿司の中で何が好き?」と尋ねたら、「メロン」との答え。いろいろな物が回っていました。(神奈川県 齊藤美奈子さん 69歳)

◆漢字パズルが楽しくてついつい家事を後回しにしてしまうのが困ったところ。。。(東京都 八木橋明美さん 68歳)

◆古希を迎えての一人暮らしです。読書もテレビも飽きたときには難問パズルに取り組んでいます。ポッチの寂しさを忘れさせてくれるのが救いです。(福井県 谷口康則さん 70歳)

◆読者さんの川柳、楽しいです。上手にできるなあと感心しています。(青森県 小野景子さん 55歳)

◆2週間に1回抗がん剤をうけながら生活しています。大変なこともあります。パズルを解いて元気に過ごしています。いつまでできるかわかりませんが、病気がわかってから1年が過ぎました。できるだけ長生きしたいと思ってがんばります。(愛知県 河瀬弘子さん 78歳)

◆介護の毎日ですが、娘が手伝いに来てくれるので非常に助かっています。暇をみて自分のナンクロ時間を作っています。娘が帰る日は、夜遅く帰ります。2時間半もかかって、届くまで心配で、考えないためにナンクロで時間をつぶしています。(長崎県 平美紀子さん 72歳)

◆96歳の介護と、3人の孫の夕食で毎日忙しいけれど、漢字に夢になって毎日充実しています。漢字パズルを解いている時間が一番楽しいです。(岐阜県 辻福美さん 66歳)

◆今号の表紙に錦帯橋!ちょっとうれしくなりました。(山口県 広岡典子さん 67歳)
◇「Annex」とは英語で「別館」という意味なので、「建造物」ときれいな自然、というコンセプトで表紙を決めました。(編)

◆アネックスの表紙はとてもステキ。次はどこか楽しみです。どうか刊行中止などなりま

せんように。ところで「ラスボス」って何? (神奈川県 松原徳さん 77歳)
◇「ラストのボス」の略で、「最後に出てくる最強の敵」のことです。紅白歌合戦で言うと小林幸子です。(編)

◆漢字、数独、野菜作り、園芸、ハーモニカ……老春を楽しんでいます。(兵庫県 藤原忠生さん 85歳)

◆若い頃から運動好きでした。歩行も姿勢が良いと言われたものでした。今気がつくと「くの字」歩きです。その度に姿勢を正してあるようにしています。(東京都 村上文夫さん 92歳)

◆只今不治の病で入院中。談話室でアネックスをやっていたら、知らない女性が寄って来て「今まで数独ばかりやってきたけど、漢字も面白そう。90歳でもやれるかなあ」と言うので「90歳代の応募も結構多いけど、初めは易しいのから始めたほうがいいですよ」とすすめました。意気投合しました。「同病相憐む」ですかね。(熊本県 吉仲哲也さん 82歳)

◆夜一人の時、電車の中、友達との待ち合わせ時など持参してます。待っている時間も気にならず、です。(神奈川県 佐藤邦子さん 66歳)

◆退職前から料理が好きな主人。今では朝・昼・晩と食事の支度。おかげで私は漢字三昧。感謝感謝です。今度はアネックス誘って2人でがんばろうかな。(福島県 香阪しのぶさん 71歳)

◆サロマ湖近くのごこ湧別町の地でも西瓜が収穫できました。マダーボールの苗2株から20個生産、近所におすそ分けして喜ばれています。(北海道 寺澤修さん 84歳)

◆駄目目で食べた後のスイカの種を蒔いてみました。3本の芽が出て、5つ程小さい黄色の花が咲き、その1つに実ができて、少しずつ大きくなり、立派な縞模様まで見られましたが、直径5~6cm位から成長しなくなりました。意を決して収穫しました。糠漬けにして半分に切ったらビックリです。中は赤くてなんと種まで黒でした。ほんのり甘みもあり、美味しかったです(10月初めの話です)。(京都府 野村早苗さん 76歳)
◇ついつい引き込まれて読んでしまいました(笑)。まさかそんなオチとは。(編)

◆全問正解者やプレゼント当選者のお名前を見て、勝手に「同志だ!」と思っています。ライバルでもあるのですが、やっぱり仲間。日本国中にいる同志です。(島根県 徳岡聡子さん 64歳)

◇ライバルであり、同志。素敵な考えですね!私は常々、弊社の難問系漢字ナンクロ誌の読者さんたちは「部活」みたいだな、と思っています。敵(作家先生の難問)を倒すために、ある人は朝早く起きて、ある人は夜遅くまで寝ずに、必死に訓練(?)をします。ついついサボってしまう幽霊部員もいるかもしれませんが(笑)、何年経っても引退する必要のない、永遠にスタメンでいられる部活です。さしずめ私は、敵との試合を組むマネー

ジャーといったところでしょうか? そして敵に勝利(全問正解)するために、間違いやすい漢字を解説したりと、部員であるみなさんを精一杯バックアップしているのです。(編)

◆書店が次々と閉店していき寂しいです。書店のない自治体が増加中とか。隣町の書店に自転車で30分近くかけて出かけていきます。それも健康にいいかもですが、いつまで続けられるか心配です。そろそろ定期購読も考える時かも。書店員さんに全問正解者の欄を見せて、「これこれ、私」と自慢できなくなるのも寂しいです。(静岡県 太田雅代さん 72歳)

◆最近、およそ40年ぶりに友人数名と再会しました。お互いにわかるのか!?少々緊張気味でしたが、会った瞬間音に戻っていました。また繋がったご縁を大事にしたいと思います。楽しかった~。(大阪府 大河原尚子さん 69歳)

◆脳に動脈瘤が見つかったから、毎年脳のMRIを撮って経過観察をしています。おかげ様で進行悪化もなく来ていますが、診察のたびに「脳みそ美人」とほめて頂いています。特に「海馬」の部分がしっかりした形だとか。「漢字ナンクロ」とか脳トレのおかげだと思います。運動、睡眠も大切だそうです。あとDHAを意識した良い食生活。「美人」を保つため、頑張ります!(兵庫県 喜田弘子さん 66歳)

◆久しぶりに本屋さんに立ち寄ったらアネックス?難問漢字?価格も超手頃、一人にのみ。サラサラ書ける紙質。ソレイユさんもあるじゃん。ど偉いもんを探しちゃった。(鹿児島県 幸山かおるさん 65歳)

◆『難問漢字アネックス』休刊になるという噂を聞きました。本当なのでしょう?もし本当でしたら理由は何ですか?本の題名も問題も気に入っています。ぜひ存続してほしいです。(岡山県 田中光恵さん 73歳)

◇残念ながら本当に休刊になってしまいました。理由は、買って愛してくださったみなさんには申し訳ないのですが、「たくさん売れなかったから」です。最近有名な出版物がどんどん休刊になっていますが、どれもこれも理由はただひとつ、「売れないから」です。この『Annex』という題名には大変思い入れがあります。長年「漢字館」シリーズとしてやってきたので、「館」っぽいタイトルにしたい、では「難問漢字・別館」はどうだろう、いやいやそれでは姉妹誌「別冊漢字館」「難問漢字館」と紛らわしすぎる、いっそ英語で「別館」の意味である「Annex」はどうだろう、いやいや漢字パズル誌なのに英語のタイトルって……といった紆余曲折もありつつ、結局は編集長である私がゴリ押し形で『難問漢字Annex』に決めたのですが、意外とみなさんにも気に入っていただけたようでよかったです。いったんは撤退(休刊)となりますが、また復刊の折には、必ずやお手に取っていただければと思います。パワーアップして帰ってくるその日まで、しばしさようなら!